

第 10 回エリア会議・討議要旨

【全般的に】

- ・ エリア会議も第 10 回、4 年目になる。行政が入った地域のまちづくりは、通常 3 年が一区切りだが、大変珍しく、熱の入った事例である。

【地域での活動に関して】

- ・ CC ラボの有料化は、当面は断念しているのか。
- ・ ・・ようやく活動が熟成しつつある段階、あと 1～2 年は今のまま無料でやる予定 (UR)
- ・ CC ラボは奥まわっていて目立たない。広場ににじみだす活動ができると、人目につき集客力もあがる。最近、歩道等を活用したカフェなど社会実験を行っているところがあるが、広場改修と絡めて何かできないか。
- ・ ・・位置的にスロープの下にあるので、降りてきた自転車と衝突する危険がある。
- ・ 外から見てわかりやすいアピールを、もっと工夫するべき。
- ・ 5 月に来場者が極端に少ないのは何故か。

【次世代スタイル WG に関して】

- ・ 様々な催しを仕掛けているが、地域への周知はどのように行っているか。
- ・ ・・ハロウィンでは折り込みでチラシ配布した。また後半になると人もかなり増え、口コミによる集客効果が伺われた。
- ・ 丁目ごとのテーブルは面白かった。6 つが概ね同じ大きさということがわかった。地域の催しの時に使わせていただけると有難い。
- ・ 参加企業の収支はどうなっているのか。例えば、郊外型のシェアオフィス、コワーキングスペースを一ヶ月くらい実験的にやってみる、また何箇所かの福祉作業所の合同で、作品を出店する機会をつくってみる、といった企画型、実験的な試みを行えるとよいが、そのような場合の資金調達につながるような試みができるとうい。
- ・ ・・現在はワーキングに参加した企業が手弁当で、自社の技術を生かして何ができるか手探りしている状態。企業名は前面に出さず、パネル展示や講師参加などで、まずは地域とのコミュニケーションをスタートした意味合いが大きい。
- ・ ・・企業としてはデータ収集、将来につながる種を探すメリットから参加している
- ・ 次世代スタイル WG の「環境」「防災」「健康」を郊外住宅地でどう展開していくか、そのテーマに企業がどういう形で乗れたらいいのか模索することは重要
- ・ ・・「歩く」ことが 3 つのテーマに関わる一つの切り口になるのでは、というアイデアもでている。

【交通関連調査・実証実験に関して】

- ・ カーシェアに関して、現在タイムズが参入していて、運営実績もあるところで、改めてこの実験を行った意味合いは。
- ・ ・・カーシェアという取り組みを、新たな仕組みとして自分たちで取り組む土壌があるかどうか、そこを確認したかったのが大きな意図である。
- ・ 地域で関係を結び合って、移動に関して何か協働的な取り組みができないか、ソーシャルキャピタルの醸成につながる実験ということだろう。
- ・ 現在の郊外でのライフスタイルにカーシェアが浸透していくのか、割と民力の高い地域でどうなのかは非常に興味深い。
- ・ 敬老パスをもらって車を手放した方が結構いる。そういう方とカーシェアの利用状況の関係がわかるとよい。
- ・ 実は当初タイムズとやろうとしていたが、(採算面から)折り合いがつかず、では地域の力でできないか、というのがスタートだった。
- ・ ニーズがあって、皆で運営する話がまとまれば実現できる取り組みだろう。

【まちづくりアンケートに関して】

- ・ 居住者を3つにグルーピングでき、その中で総合的な満足度に何が効いているかが明らかになった。この結果をどのような今後の方策に活かしていけばよいか。
- ・ 地域コミュニティへの満足度は、どのグループでも要因として第2位と高い影響力を持っており、地域の人と人のつながりへの満足度が、世代を問わず、まちに対する総合的評価につながっている。CC ラボや次世代スタイルワーキングの活動も、これらの結果を踏まえて、戦略的に取り組んでいくことが重要。
- ・ 商業施設への満足度が結構プラスにでているのが、実態と違う感じがするが。
- ・ 総合的な満足度の低い方と商業施設に不満を持っている方との関係はチェックをする必要がある。
- ・ 洋光台では 75 歳以上の後期高齢者比率が非常に高く、介護関連施設が非常に不足している実感がある。今度のアンケートでは、他の人がどう認識しているのかを知りたい。介護・福祉分野の実態とニーズを把握していただきたい。

以上